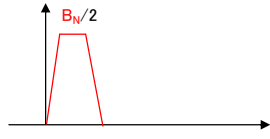
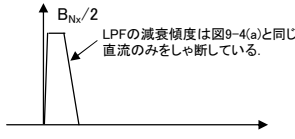
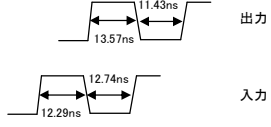
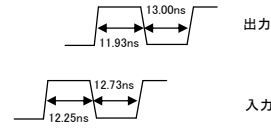


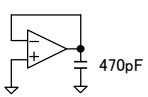
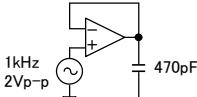


OPアンプ活用 成功のかぎ 正誤表 その1

2009/5/3 川田章弘

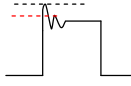
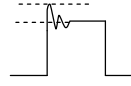


章	ページ	誤	正	
目次	10	上から11行目	雑音を定量化する	雑音を定量化する
	13	下から1行目	OPアンプは低音でも...	OPアンプは低温でも...
	15	下から2行目	インストゥルメンテーション・アンプのさまざま	インストゥルメンテーション・アンプのさまざま
第1章	31	図1-7(b)	図中吹き出し「レール・ツー・レール入力型」	レール・ツー・レール出力型
	32	上から17行目	入力レール・ツー・レール型や単電源型は、...	入力レール・ツー・レール型は、...
	33	下から5行目	片電源になった瞬間に壊れる...	片電源になった瞬間に壊れる...
第1章	37	図1-A(a)		
		図1-A(b)		
		図1-A(c)		
第2章	41	図2-3	一番上の「左図から次式が成り立つ $V_{out} = A_v V_{in}$ 」	削除
第3章	69	コラム下から4行目	-1dB減衰する周波数...	n dB減衰する周波数...
	78	下から7行目	$Z_x = R7 + R3 // R5 \times \frac{1}{\sqrt{1 + \left(\frac{f}{f_c}\right)^2}}$	$Z_x = R7 + (R3 // R5) \times \frac{1}{\sqrt{1 + \left(\frac{f}{f_c}\right)^2}}$
	81	図3-22(a)	図中の「+」記号	× (流れないという意味)
第4章	91	写真3-B	出力信号の0Vの位置	写真3-Aと同じ
	91	写真3-B	吹き出し「出力信号2Vp-p」	「出力信号」
	100	図4-9(c)	006P 9V電池の記号	
第4章	102	図4-12	説明文「カップリング・コンデンサもバイパス回路も不要」	削除
	102	下から2行目	前述のように、直流性能の良いアンプは両電源のほうが...	直流アンプは両電源のほうが...
	106	下から3行目	抵抗(Q3, Q5, R1とQ4, Q5, R2)の...	抵抗(R1とR2)の...
	108	上から5行目	OPアンプの入カバイパス電流実体は...	OPアンプの入カバイパス電流の実体は...
	115	下から3行目	OPアンプの入力部に直流電圧を...	OPアンプの入力部に直流電流を...
	119	図4-35	吹き出し「データシートに記載されている同相入力電圧、実測値とほぼ一致する」	データシートに記載されている同相入力電圧範囲
	121	上から9行目	非反転積分回路は+側と-側に...	差動積分回路は+側と-側に...
	121	上から11行目	非反転積分回路と反転アンプや...	(反転)積分回路と反転アンプや...
	121	下から8行目	図4-39の積分回路のコンデンサC1には、...	図4-38の積分回路のコンデンサC1やC2には、...
	123	図4-39(a)	キャプション「一般的な構成」	差動積分回路
第5章	125	コラム1行目	ボリューム付きのヘッドホン・アンプ回路...	ボリューム付きのアンプ回路
	125	コラム5行目	コンデンサC2や...	コンデンサや...
	148	図5-B	80をさす鎖線(太線)	細線(1/fコーナ周波数を示す漸近線とは無関係)
	152	表5A-1	VOLの0.5に鎖線丸印の横に矢印がない	数値の横に- (矢印を追加)
	153	上から2行目	第3章の反転アンプに使った...	第3章の非反転アンプに使った...
	153	写真5A-1	キャプション「図3-1の反転アンプの...」	図3-1の非反転アンプの...
	153	下から8行目	両アンプはシングルエンド信号とみると...	両アンプの出力をシングルエンド信号としてみると...
	155	図5A-5	引用文献番号(3)の抜け	(3)から引用
	155	図5A-6	引用文献番号(3)	削除
	156	図5A-7(a)	キャプション「入力信号と出力信号の変化」	入力信号とオフセット電圧の変化
156	図5A-8	縦軸「ゲイン」	レベル	
第5章	157	図5A-9(a)		
		上から1行目	...を入力して出力信号を観測...	...を入力してオフセット電圧の変化を観測...
		上から1行目	...高い電圧電源を供給して...	...高い電圧を供給して...
158	図5A-10	縦軸「ゲイン」	レベル	
160	上から6行目	...電圧によらず入力同相電圧...	...電圧によらず同相入力電圧...	
165	式(5B-12)	$B_N = f_c \frac{f_c^4}{32 \sqrt{\sqrt{2} - 1}}$	$B_N = \frac{5\pi}{32 \sqrt{\sqrt{2} - 1}} f_c^4$	
	下から4行目	...次式で求められます ⁽¹⁾次式で求められます.	
166	式(5B-14)	$-\frac{2}{q}$	$-\frac{q}{2}$	
167	図5B-2	引用文献番号(21)	引用文献番号(2)	
168	上から5行目	波高率は4.4なので次のように...	波高率を4.4とすると(表5B-3参照)、次のように...	

第6章	182	図6-13	R5とR6の接続点●の抜け	●を追加
	183	上から3行目	実際のOPアンプの...	実際のアンプの...
第7章	198	下から3行目	...誤差(CMVエラーの測定時など)に直流...	...誤差(CMVエラー)の測定時などに直流...
	200	下から3行目	$Ao(i\omega)\beta(i\omega) = 1$ 倍(0dB)	$ Ao(i\omega)\beta(i\omega) = 1$ 倍(0dB)
	202	表7-1	引用文献番号抜け	引用文献番号(4)
	203	下から9行目	ドミナント・ポール(図7-7)が出力抵抗と容量性負荷で決まる周波数(図7-7の左方向)まで低下するからです。	ドミナント・ポール(図7-7)より低い周波数(図7-7の左方向)に、出力抵抗と容量性負荷で決まるポールが生じるからです。
第9章	206	コラム	極と零点	極と零点 ⁽⁵⁾
	256	図9-4(c)		
第10章	263	図9-D	キャプション「...LMH6702とOPA846IDの高調波ひずみ」	...LMH6702の高調波ひずみ
	265	導入部1行目	低雑音OPアンプ...解説します。	削除
	265	導入部5行目	OPアンプです。	アンプです。
	266	下から5行目	...はOPアンプの基本性能の一つで、...	...は差動アンプの基本性能の一つで、...
	267	下から5行目	...見積もることができるからです ⁽¹⁾⁽³⁾⁽⁴⁾⁽⁷⁾ 。	...見積もることのできるからです。
	276	図10-15	引用文献番号(15)	削除
	277	図10-16	引用文献番号(2)	引用文献番号(15)
	278	図10-17	引用文献番号抜け	引用文献番号(2)
	280	図10-18	(c)AD8200YR	ピン配置図ごと削除
	285	下から7行目	AD8200YRは測定しませんでした。	削除
	286	上から3行目	...特徴をもつ差動OPアンプです。	...特徴をもつインストゥルメンテーション・アンプです。
	287	上から11行目	...十分に大きいと考え、分圧比は約1倍にしました。	...十分に大きいと考え、どちらの場合も分圧比は約1倍と考えました。
	290	図10-29説明文	したがって測定値[dB]-差動ゲイン[dB]を求めて補正する。	通常のPSRRは、測定値[dB]-差動ゲイン[dB]を計算して求める。
第11章	300	上から1行目	入力側電源回路の安定化電圧が、...	入力側電源回路の電圧が、...
	300	上から2行目	出力側電源回路の安定化電圧が、...	出力側電源回路の電圧が、...
	308	上から10行目	アイソレーション・アンプと後出のデジタル・アイソレータを評価する...	アイソレーション・アンプを評価する...
	309	上から4行目	SoCデバイスにパルス信号を加え、その応答信号を...	SoCデバイスにパルス・パターンを加え、そのアナログ出力信号を...
	310	下から9行目	...I/Oの出力電流は、FIFOに入力...	...I/Oの出力電流は、FPGAに入力...
	311	図11-22	引用文献番号(7)	引用文献番号(5)
	313	上から1行目	...電源OFF時の応答	...電源OFF時の反応
	313	下から6行目	...ON/OFF時の応答	...ON/OFF時の反応
	314	図11-25(b)	左図のようにパルス幅値を記入	
	315	図11-26(b)	左図のようにパルス幅値を記入	
第12章	316	下から7行目	文献(8)によると、...	文献(6)によると、...
	323	下から9行目	によってグラウンド電位を揺さぶります。	に流れグラウンド電位を揺さぶります。
	326	上から3行目	...はB ² SPICE、高速OPアンプの...	...B ² SPICEです、高速OPアンプの...
	326	下から9行目	...いけません。入力バイアス電流の影響を抑えたい場合であっても、RFの値は数百Ω程度にしておきます。図12-8で説明したとおり、...	...いけません。図12-8で説明したとおり、...
参考文献	348	第5章AppendixA	...Newnes, 2003.	...2003, Newnes.
	348	第5章AppendixB	(3) Udo...	(3) Udo...
	349	第8章	(4) 澤岡 昭...	(4) 澤岡 昭...
	350	第10章	(1) 岡村 勉夫...	(1) 岡村 勉夫...
	351	第12章	(1) ... (Jim Williams Ed)...	(1) ... (Jim Williams ed)...
352		(10)~(17)のすべてについてXXXX年、	年を削除	

追加				
章	ページ		誤	正
第1章	28	表1-2(c)	LM6702	LMH6702
第3章	72	図3-10	電源+5Vの記号 	
第7章	203	図7-8		

OPアンプ活用 成功のかぎ 正誤表 その2

2009/5/14 川田章弘

章	ページ	誤	正	
第4章	122	図4-38(a)	V _{adj} の抜け (b)と同じ箇所にV _{adj} を記入	
第5章	168	図5B-3	引用文献番号(2) 削除	
第7章	217	図7-28		
第11章	309, 310	図11-20,21 DUT電源の記号		
参考文献	347	第4章	(4)・・・John Wiley & sons,Inc.・・・	(4)・・・John Wiley & Sons,Inc.・・・
	351	第10章	引用文献(10) AD8200	削除
	353	第12章	(後編);トランジスタ技術2004年7月号,・・・	(前編);トランジスタ技術2004年7月号,・・・
第10章	277	図10-16	上記の文献(10)削除につき引用番号を訂正 (15)→(14)	
第6章	175	図6-5	図中吹き出し「Aopen β =0より・・・」	Aopen β =1より・・・
第6章	192	図6A-4(b)	・・・高周波信号増幅用	・・・高周波信号バッファ用